

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2019年11月15日

事業所名：フェローIntech

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保		○		少し狭く感じることもある。車椅子が通りやすいレイアウトを心がけている。	19	5	0	2		引き続き、スペースの活用方法や席順を考慮していく。
	2 職員の適切な配置		○		児童支援員がもう一人増えて欲しいと感じている。	18	4	1	3		常勤職員に加え、アルバイトスタッフを配置していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○			支援ツールなど、用意できているものもある。活用の浸透化が課題。	15	2	0	9		要望に合わせて、随時対応していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			常に掃除を心掛け、風邪などの感染防止に手洗いうがいも励行している。	20	1	0	5		毎日の事業所内清掃を継続して行っていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画		○			/	/	/	/		毎月の部署ミーティングを継続して行い、課題点の共有を図る。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○		不定期で社内アンケートを行っている。	/	/	/	/		必要に応じて、外部評価を取り入れ活用していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			月に一度の社内勉強会や年に一度の合宿研修など機会の確保に努めている。	/	/	/	/		社内研修に限らず、外部主催の職能研修の機会も活用していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			児童本人や保護者とコミュニケーションをとりながら計画を作成している。目標期日に間に合わないこともある。	23	3	0	0		支援計画作成時の適切なアセスメントをより心掛ける。利用状況に合わせて作成時期を確認する。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			支援内容の記載はできているが、ガイドラインの意識は個人差がある。	23	3	0	0		個々に適した計画作成を心掛ける。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○			本人の状況に合わせて、適宜相談しながら計画を作成している。	/	/	/	/		引き続き個々に適した計画作成を心掛ける。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○				20	4	1	1		引き続き適切な対応を心掛ける。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	○			部署ミーティングや申し送りにて活動の方向性を検討している。						毎月の部署ミーティングを継続して行っていく。
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○				15	8	0	3		より活動内容や学習カリキュラムの質向上を図るため、検討を進めていく。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○			イベントの計画や実施の回数を増やしている。						より活動内容や学習カリキュラムの質向上を図るため、検討を進めていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○			毎日の申し送りにて確認を行う。個々のスケジュールにより(他部署との打ち合わせなど)ミーティングの時間が取れないことがある。						毎日の申し送りを徹底していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○			終了後は時間的制約があり、翌日に持ち越すことが多い。必ずとは言えず、もっと共有をしたいと感じている。						毎日の申し送りを徹底していく。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○			支援記録、申し送り、日報などで共有を行っている。						引き続き適切な対応を心掛ける。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○									引き続き適切な対応を心掛ける。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○									引き続き適切な対応を心掛ける。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	○			該当者なし。						該当者なし。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		○		該当者なし。						該当者なし。
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		○		送迎時、お迎え時にコミュニケーションを取るようになっている。もっと共有の場を作りたいと感じている支援員もいる。						必要に応じて随時行う。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供		○								必要に応じて随時行う。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○									必要に応じて随時行う。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			○		8	6	3	8		本人・保護者からの要望に応じて機会創出を検討していく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	○				地域に対し開けた社内行事を行っているため、今後も続けていきたい。					今後も地域貢献に繋がる事業運営を目指してイベント時の交流など行っていく。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○			契約時に対応者より説明させて頂いている。	19	7	0	0		引き続き適切な対応を心掛ける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明		○			15	6	1	4		引き続き適切な対応を心掛ける。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		○			7	7	2	10		今後も社内行事を通じて、保護者との交流の機会を図りたい。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	○			日々の活動の中での状況については連絡帳を活用し細かく共有。	14	9	2	1	以前は送迎の時に話を来ていたが直近ではそれもなくなった。（どちらともいえない）	送迎時やお電話等で細やかな情報共有・意見交換を心掛ける。
	5	○			連絡帳や電話時に相談を受けた際、管理者を中心に、個別で対応している。	8	10	4	4		送迎時やお電話等で細やかな情報共有・意見交換を心掛ける。
	6		○			7	7	5	7		今後も社内行事を通じて、保護者との交流の機会を図りたい。
	7	○			質問やご意見を受けた際には、適宜内容を共有し対応している。	7	3	1	15	利用中トラブルがあった時に連絡は早めにして欲しい。（どちらともいえない）	引き続き迅速な対応を心掛ける。事業所の職員情報の周知方法も検討していく。
	8	○				17	3	1	5		引き続き適切な対応を心掛ける。
	9	○			事業所から会報など発行できておらず、イベントチラシ、イベント振り返りを送付させて頂いている。	18	2	1	5		SNSなども活用しながら、活動の発信や利用家庭への連絡を強化する。
	10	○				19	2	0	5		引き続き適切な対応を心掛ける。
非常時等の対応	1		○		事業所内に設置済。周知が必要。	9	6	2	9		今あるマニュアルの活用。情報を共有しやすい設置の仕方を検討する。
	2	○			避難訓練やDVD学習など毎年行っている。	5	5	2	14		引き続き訓練の実施。保護者へ活動を周知できる工法の方法を検討する。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○			現在虐待防止委員会も設置し、より研修を強化していく予定。						社内で虐待防止委員会を設置し、職員向けに研修を実施している。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	○			記載できていない。						必要に応じて、本人や保護者と協議を行い、了承を得る形で進めていく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応		○		契約時にお伺いすることがある。医師の指示書まで確認したことはない。						情報の確認の徹底。（特に食事提供のある活動の際）適切な対応を心掛ける。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○			申し送りや日報での共有を行っている。						ケースの記録、共有する仕組みを検討していく。